

# みんなの 広場



※上のイラストは、題字と同じ内容を指文字と手話で表したものです。

## 主な内容

- 理事長巻頭ごあいさつ 手にして未来 …… 2
- 24時間テレビ福祉車両贈呈
- シリーズ 専門職紹介③ …… 3  
～療育センターの作業療法士、理学療法士～
- [特集] 職場研修～各施設での取り組み～ …… 4、5  
～みたけ学園・みたけの園、好地荘、やさわの園、和光学園、こぶし、松風園～
- シリーズ わたしたちの自慢③ …… 6  
～やさわの園、かたくり、松山荘～
- 新規事業所等紹介 …… 7  
～みたけ学園児童デイサービスセンター「くれよん」、相談支援事業所「まつやま」、障害福祉サービス事業所さくら～
- 「出会いの店 ゆめれたす」閉店のお知らせ …… 8
- 製品紹介 ～松山荘、みたけの園、地域生活支援センター歩夢、松風園～

**117号**  
平成26年3月1日  
発行



## 皆さまの温かいご支援に感謝いたします。

～24時間テレビ 福祉車両 贈呈～

平成26年1月30日、盛岡市のふれあいランド岩手で24時間テレビ福祉車両贈呈式が行われ、公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会から、当法人の障害者支援施設つづじ（一戸町）にスロープ付き軽自動車が増呈されました。贈呈式後は、式に出席したつづじの利用者・佐藤正子さんと一緒に、いただいた車の前で記念撮影を行いました。新しい車を目にした時のまぶしい笑顔がとても印象的でした。

※2ページに関連記事

みんなの広場 2014 第117号 平成26年3月1日発行

発行/社会福祉法人岩手県社会福祉事業団 〒020-0114 盛岡市 殿後三丁目7-33  
電話 019-662-6851 FAX 019-662-8044  
URL http://www.iwate-fukushi.or.jp E-mail fukushij@iwate-fukushi.or.jp

## 長い間、ありがとうございました。

～出会いの店 ゆめれたす（一戸町）閉店～



長い間ゆめれたすを支えてくれた佐藤正子さんです。（右から）角館星子さん、寺澤由子さん、女鹿生活支援員

出会いの店ゆめれたすは、平成7年4月のオープンから19年間、皆さまの多大なるご支援のもと営業を続けてまいりましたが、諸般の事情により、お店の営業は2月末日で、コーヒー焙煎事業は3月末日で終了することとなりました。

利用者ご家族の皆さまをはじめ、たくさんの方々にご利用いただき、また支えていただき、心から感謝申し上げます。長い間、本当にありがとうございました。



たくさんのお客様で賑わった店内



ゆめれたすでは、利用者、職員の皆さんにとって寮棟以外にホットできる空間作りを目指してやってきました。ここまでゆめれたすでの勤務を続けてこられたのは皆さんのおかげです。感謝しています。ありがとうございました。

（生活支援員 女鹿百合子）

ゆめれたすが閉店した時からウエイトレスをやってきました。ケーキを運んだり、ゆめれたすに来たみんなと話をしたりして楽しかったです。ゆめれたすコンサートも楽しかったです。

（角館星子）

ゆめれたすでの仕事は、食器を洗ったり掃除をしていました。楽しかったです。

（寺澤由子）

## 製品紹介



松風園のコーヒー豆太郎です。当法人の事業所で生産・販売している商品を紹介します。

### みたけの園（滝沢市）

#### ガラス製品

**きらりんペン立て**  
オリジナルデザインを施したガラスのペン立てです。  
価格 500円

**きららのあかり**  
オリジナルのガラススタンド。キャンドル、LEDライトで優しい灯りを醸し出します。  
15cm角 5,000円・12cm角 3,000円

【お問い合わせ先】 担当：谷地館  
TEL 019-641-0205 FAX 019-641-7460  
E-mail mitake@alto.ocn.ne.jp

### 松山荘（宮古市）

#### 生花

室内を華やかに彩り、暖かな春を演出しませんか？

**シンビジウム 1,500円～**  
※大きさにより価格が異なります。

#### 木工製品

写真は焼き目ですが、他に、素材をそのまま活かした白木もございます。

**プランター（大）700円・（小）500円**  
**花台（大）500円・（小）300円**

【お問い合わせ先】 木工製品担当：小川 生花担当：澤口  
TEL 0193-62-7921 FAX 0193-64-3530

### 松風園（花巻市）

#### ホワイトロッククッキー

サクサクの生地の中に、炒ったくるみがゴロゴロ入った、食べごたえ抜群のクッキーです。現在4個入りですが、個数などは相談に応じます。

**4個入り 150円**

【お問い合わせ先】 担当：嵯峨  
TEL 0198-45-3016  
FAX 0198-45-3017  
E-mail shoufu@fukushi-sfe.jp

### 地域生活支援センター歩夢（盛岡市）

#### 弁当

日替わり弁当の他に外注弁当、オードブルも承っております。

**日替わり弁当 400円**  
**外注弁当 500円～1,000円**  
**オードブル 2,000円～**

#### 名刺

（点字名刺にもできます）約20種類のサンプルがありますが、お客様のお好みに応じて作成いたします。

**白黒印刷 120円（10枚）**  
**カラー印刷 150円（10枚）**  
**点字あり 上記の価格にプラス10円（10枚）**

【お問い合わせ先】 弁当担当：晴山 名刺担当：菅野  
TEL 019-662-6852 FAX 019-662-6872  
E-mail ayumu@iwate-fukushi.or.jp



# 手にして未来

常に、基本・基礎を大切に

岩手県社会福祉事業団  
理事長 藤原 健一

当事業団においては、今後、現経営基本計画終期（平成32年度）までに、職員の約三分の一が定年を迎えます。昭和50年代の「中山の園」開園期に採用され、事業団を支えてきた経験豊かな「人財」です。このため、計画的な職員の確保、若手・中堅職員から経営管理層の計画的な人材育成や退職職員の活用等が急務となっております。

このような事情も踏まえ、平成25年度は、経営基本計画に基づき、経営改善検討委員会において、前期実施計画の見直しとともに、給与制度の見直しや新たな雇用制度の創設、庶務管理事務の効率化と人材の育成、法人の事業継続計画の作成、職員の業務支援マニュアルの作成、人事考課制度など多岐にわたる検討を行っています。

この中で、この度、職員業務支援マニュアルとして、「サービス提供の手引き」を手

にして未来」が完成しました。この手引きには、事業団職員として共有すべき理念、基本的な考え方や知識等が示されています。職員共通のテキストとして、支援の基本、業務遂行上のルール等も明示し、全ての職員が、日々の実践に役立て、一人ひとりが支援力を高め、法人の理念の実現に寄与できるように、更には、これからの社会福祉をリードする人材の育成を願いながら、当事業団のノウハウを結集して作成されました。サービス水準の向上のみならず、知識不足による各種事故の防止にもつながります。

書名の「手にして未来」は、あとがきによると、編集委員たちの、「手引き」を手にして、「お客様の未来」、「職員の未来」、「事業団の未来」を拓いて欲しいという強い願いが籠っています。

間もなく、職場に「手引き」が届きます。ペタランから若手・中堅職員まで、全職員がこの「手引き」を手に取って、学び合い、常に基本・基礎を大切に、「一丸となって、どこまでもお客様本位の質の高いサービスを追求し、お客様・職員・事業団の幸福な未来と日本の社会福祉の未来を拓いていきたいと念じています。

# 福祉車両を頂戴しました！

24時間テレビ福祉車両贈呈

平成26年1月30日、盛岡市のふれあいランド岩手を会場に、24時間テレビ福祉車両贈呈式が行われました。公益社団法人24時間テレビチャリティ委員会より、当法人の障害者支援施設つじをははじめ、17団体に福祉車両が贈呈され、藤原理事長が代表して車両の目録を受け取りました。



当事業団では初めて24時間テレビ福祉車両の贈呈を受けました。

車両を見た利用者さんからは、「新しく良い！」「車いすの人も、車いすじゃない人も乗れて良い」という声や、「早く乗ってみたい。」「担当（職員）と一緒に、盛岡まで行って買いたい物したい。」という希望も聞かれました。

今後は、利用者の皆さんの希望を叶え、笑顔を増やす福祉車両として、大いに活躍することと思います。

（事務局 主事 山崎 竜史）



スロープは、電動ウインチを使って、スムーズに、安全に乗降できます。



車いすのまま乗り込み、中はゆったり♪

# シリーズ 専門職紹介 Part3



専門職のお仕事を紹介するシリーズ第3弾。シリーズ最終回となる今回は、療育センターの作業療法士と理学療法士の紹介です。

## 日常生活を目指して 作業療法士

県立療育センター（診療部）

作業療法は O T (Occupational Therapy) と呼ばれています。作業とは、日常生活や仕事、遊びなど、人が人として生きて行く為に必要なあらゆる活動を指しています。作業療法士は日常生活や仕事などに何らかの支障がある場合、支障をきたしている動作の訓練や環境調整などを行います。対象となる疾患は脳梗塞やパーキンソン病、リウマチ、認知症、躁うつ病、脳性麻痺、自閉症など多岐に渡ります。そのため、病



さまざまな遊具や訓練道具を備えた作業療法室

院だけではなく老人保健施設、行政機関の他、学校、職業センターなどで働いています。岩手県立療育センター診療部には、現在2人の作業療法士がいます。発達の遅れや障がいによって、日常生活の基本となる食事、着替え、トイレなどの動作や、学校の授業に必要な書字動作や縄跳び、あるいは遊びなどの活動が困難なお子さんに対して、作業療法を行います。具体的には、箸が上手に使えないお子さんには持ちやすい箸で物をつまむ動作を訓練したり、縄跳びが苦手なお子さんにはリズムカルにジャンプしたり、縄跳びをする訓練を行います。

当センターの作業療法室には、様々な遊具や訓練道具があります。遊具を使った活動や机上活動などを通して、上手にできなくて困っているところを見つけ、訓練・治療を行い、動作を習得できるようにしています。また、落ち着きがない、こだわりが強いなど、行動面に問題を持つお子さんに対しては、そのお子さんの特性に合わせた感覚統合療法や行動調整を行い、行動上の問題を解決できるように訓練・治療を行います。さらに、大きな音を怖がる、ベタベタしたものを触れないなどの感覚面の問題を抱えるお子さんに対しては、環境調整などを指導しています。

## 運動療法、物理療法を用いて 理学療法士

県立療育センター（診療部）

「理学療法士」は、P T (Physical Therapist) と呼ばれ、法律により資格、業務等が定められ、理学療法を専門技術とすることを認められた者に与えられる名称です。同法によれば理学療法士とは、「厚生労働大臣の免許を受けて、理学療法士の名称を用いて、医師の指示の下に理学療法を行うことを業とする者」とされています。

理学療法士は、身体に障がいのある人や障がいの発生が予測される人に対して、基本動作能力（座る、立つ、歩くなど）の回復や維持、および障がいの悪化の予防を目的に、運動療法や物理療法（温熱、電機などを治療に利用するもの）などを用いて、自立した日常生活が送れるように訓練・治療を行います。主に、病院やクリニック、介護保



座位の姿勢で訓練をしています。



歩行器を使った歩行訓練中。

険関連施設、障がい児（者）通所・入園施設などで働いています。最近ではメタボリックシンドロームの予防対策分野やスポーツ分野で働いている人もいます。

岩手県立療育センター診療部には、現在7人の理学療法士がいます。整形外科医師の診察により、理学療法が必要と判断されると、指示が出され理学療法が開始されます。脳性麻痺やその他の疾患に伴う運動発達（首のすわり、お座り、立つ、歩く）の遅れ、運動麻痺、筋力低下のあるお子さんに対して、運動発達を促す療法を行います。股関節脱臼等の整形外科的疾患などの方々も対象としています。また、成人の脳性麻痺やその他の疾患、後遺症の方には運動機能の維持改善を目的とした療法を実施しています。その他に、ご家庭で行う訓練の説明書を作成したり、日常生活動作（食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など）に関する助言、および補装具や車いす類の検討・助言などを行っています。



**みたけ学園**  
みたけの園  
（福祉型障害児入所施設）  
人権擁護・虐待防止研修

みたけ学園・みたけの園では「虐待防止実施要領」を定め、虐待防止対応責任者の所在と虐待の通報受付担当者を明確にすることで、虐待の早期発見と早期対応を図るとともに、虐待防止委員会を設置し、虐待防止の取り組みについて定期的な検討と見直しを行っています。

その中で、人権擁護、虐待防止に係る職場研修として、8月に滝沢村人権擁護委員8名に来園いただき、第1部では利用者を対象にDVDや歌を通して「自分を大切にすること。相手を大切にすること」について教えていただきました。第2部では、職員を対象に「障害者と人権侵害の問題」「支援者と職場の問題」について講話をいただきました。また、2月18日には、昨年度「基本的人権」について講話をいただいた盛岡地方事務局の方を講師にお招きし、人権擁護研修を行いました。

た。人権侵害、虐待、人権相談等について講話をいただいた他、人権擁護啓発として行われている人権文コンテストの作文の朗読もしていただきました。改めて、自分自身の支援について振り返る良い機会となりました。



盛岡法務局職員による研修。松風園、好地荘の職員も参加しました。

3年前、虐待事案が当グループで起きたことは大変残念なことでしたが、そのことを決して忘れることなく、日々職員一人ひとりが自分自身に問いかけ、振り返り、お互いに目を配り気を配り、より良い利用者支援のための取り組みを継続してまいります。

（副園長 道上 瑞子）

**やさわの園**  
（障害者支援施設）

ドライブシミュレーター  
を使った交通安全研修

やさわの園では、自家用車で通勤する職員が多いこと、通院や外出等で利用者が同乗した公用車を運転する機会があることから、交通安全への意識向上を目的として、「交通安全研修」を実施しました。

講師に、花巻警察署交通課長の小谷地警部補を迎えて、花巻管内の交通事情・状況についての講義、ドライブシミュレーターによる運転適性演習等を行いました。講義では、事故の総数は減少しているが重傷事故が多くなっていること、スピードは出さない、早めのライト点灯、350cc缶ビールのアルコールの消失時間に5時間要することを例に、飲んだら乗らない、運転させないこと等、基本的な事ではあります。改めて安全運転の再認識をする機会となりました。



ドライブシミュレーターによる演習体験

また、今回の研修で特徴的だったのが、ドライブシミュレーターによる運転でした。機械の画面を見ながらハンドル操作をすることで、運転者の適性や傾向などを客観的に知ることができました。体験型の研修であったため、より記憶に残りやすく、参加した職員からも大変好評でした。今後も、このような体験型の研修を取り入れながら、施設や職員のニーズに合った研修を実施していきたいと思っております。

（主任生活支援員 吉田 二郎）

**職場研修**

**特集**

～各施設での取り組み～

当法人では、サービスの質の向上や人材育成のために、各施設で職場研修を開催しています。その中から、今回は、6つの施設にスポットを当て紹介します。

**好地荘**

（救護施設）

精神障がい、依存症の支援について

好地荘には、身体上及び精神上、さまざまなハンディを持って生活されている方が入所していらっしゃいます。特にも、近年は、精神障がいやアルコール依存症の方が多く、その支援のあり方について職員間でケアカンファレンスを行い、より良い支援のあり方について試行錯誤を重ねてい



アルコール依存症などについて具体的・事例的な講義をしていただき、効果的な支援をするうえで、薬物療法と生活支援が欠かせないとのお話がありました。普段から利用者を診察していただいている高橋院長のお話は、利用者が持っている障がいや事例のイメージを共有しやすく、職員個々に抱えていた疑問や課題を解決・確認する機会となりました。今回の研修で学んだことを、今後の支援に活かしていきたいと思っております。

（生活支援員 上斗米 諾子）

**いづし**

（障害者支援施設）

歯科衛生士による口腔ケア研修

今年度こぶしでは、業務改善計画で「口腔ケア」について取り組むこととし、一戸町ぽぽ歯科医院の歯科衛生士大畑久美子さんを講師に招き、職場研修を2回開催しました。

1回目は職員が正しい口腔ケアを学ぶことを目的に行いました。最初に講義で



歯磨きの順番や歯ブラシの当て方等を学びました。



歯茎のマッサージも大切です！

口腔ケアの目的と効果、歯の磨き方のポイント、口腔内の観察のポイント、口腔ケア用品の選び方等を学びました。その後2人1組になり、実際に相互に歯磨きを行いました。最初に感じたのが「他の職員に口の中を見られるのは恥ずかしい」ということで、普段私達はあまり意識せず利用者の歯磨き支援を行っています。この体験を通して歯磨き支援を受ける利用者の気持ちを理解することができ、利用者が気持ち良いと思える口腔ケアを行うことが大切だと学びました。

（生活支援員 岡野 彩子）

**和光学園**

（児童養護施設）

情報モラル研修

携帯電話やゲーム機の普及によって、子どもがインターネットを通じた犯罪に巻き込まれたり、没頭する余り生活面に悪影響を及ぼす危険性が高くなっています。和光学園でも同様に、子どもたちがゲームに夢中になって遊ぶことが多くなっています。一方、職員は、情報技術や機器の進歩についていけず、知識がないために適切な支援が難しい状況となっています。そのため、業務改善活動として、「情報機器取扱い手引書



ゲーム大好き。小さい頃からゲームへの関心が強いです。

の作成」に取り組んでいます。活動の一環として、岩手県立総合教育センター情報・産業教育担当職員を講師に招き、「情報モラル研修」を実施しました。研修では、情報機器の問題点、犯罪例等を交えた講義のほか、参加者全員にスマートフォンが貸し出され、ネット世界の疑似体験を行いました。疑似体験の内容は、占いをするためのサイトに入り、画面で求められる質問項目に対して入力していくと占いの結果が出るというもので、何気なく入力した生年月日や氏名、さらには位置情報などが、気づかないうちに読み取られているというものでした。

研修を通して改めてネット社会の現状を知り、フィルタリング等の予防が必要であること、また大人が現状を知り、理解し、見守ることが大切であることを学びました。今後も児童、職員共に、情報機器の取扱いについて共通理解を持ち、適切に活用していけるよう取り組んでいきたいと思っております。

（児童指導員 永洞 博之）

**松風園**

（障害者支援施設）

家族・職員合同  
成年後見制度学習会

松風園家族会からの要望をきっかけに、平成25年10月24日に家族会と職員合同で「成年後見制度学習会」を行いました。当園の利用者の成年後見人も務めていらっしゃる「可児司法書士事務所」の可児あさみさんと工藤恵之助さんを講師に迎えて、「成年後見制度の活用について学ぶ」をテーマに講演していただきました。

成年後見制度の概要に始まり、事例等や、具体的な費用について話していただき

ました。終了後の質疑では様々な質問等が出され、実際に制度の利用を検討される家族の方もいらっしゃいました。家族と職員が合同で研修会を行い、共に学ぶことで、職員は利用者や家族が抱えている状況をより深く理解することができたと思います。今後も様々なテーマで、合同の研修会を続けていきたいと考えています。

今回の研修で使用した資料は、家庭裁判所のホームページにも掲載されているとのことでしたので、興味のある方は一度ご覧になってはいかがでしょうか。

（就労支援係長 小林 理）



# シリーズ わたしたちの自慢 vol.3

各事業所の「ここが自慢!!」ということを取り上げ、紹介するシリーズ。第3回は松山荘、かたくり、やさわの園の自慢を紹介します。

## 地域とつながる ボランティア交流会

障害者支援施設 かたくり(一戸町)

障害者支援施設かたくりの自慢、それは、地域交流の二環として、さまざまなボランティア交流会を行っていることです。今年度は、ダンス、コーラス、ハンドマッサージ、ちぎり絵教室、デコパージュ作品展示と様々な内容の交流会を行いました。9月に実施した岩手県立大学化粧ボランティアサークル KIPU\*Labo (キプラボ)の方々によるハンドマッサージボランティアは、利用者

の皆さんから大変好評で「揉み方が上手で気持ち良かった」、「ハンドクリームが良い匂いでリラックスできた」など、喜びの声がたくさん聞かれました。かたくりでは、岩手県社会福祉協議会、一戸町役場、教育機関等各方面から地域で活動されているサークルの情報収集を行い、新規の団体の受け入れにも積極的に取り組んでいます。今後も地域の方々のご協力をいただきながら、利用者の皆さんに喜んでもらえる交流会を企画していきたいと考えております。

(生活支援員 藤井佐和子)



岩手県立大学化粧ボランティアサークル KIPU\*Laboによるハンドマッサージ

やさわの園自慢のスヌーズレンルームは、光、音、におい、振動、温度、触感等の刺激を感じ取りながら穏やかな時間を過ごせるお部屋です。利用者の皆さんの一番人気は、ウオーター・ベッドです。心地よい温度に設定されたベッドの上に横になったり、座って揺らしたり、ゆらゆら揺れる感覚や内蔵された振動刺激を感じたりしてリラックスしています。次に人気があるものは、直径20cm、高さ2mはあろうかというパブルユニットです。下から無数の泡が上昇する様子や

## 五感で楽しむ スヌーズレン

障害者支援施設 やさわの園(花巻市)

色に変化する様子を見つめたり、中にはギュッと抱きかかえ、振動を楽しむ利用者の方もいます。他にも光ファイバーの束の二本一本がキラキラ光るサイド



新しくなった スヌーズレンルームです。

グロウを楽しむ方、画像や液体が動く様子が映し出されるソーラー・プロジェクター、ミラーボールから反射される壁や天井の光の動きを目で追い、視覚刺激を楽しむ方、楽しみ方は様々です。スヌーズレンルームが新しくなったことで地域の方々、近隣施設の方々、学齢児の方々のご利用も増えています。やさわの園のスヌーズレン、一度体験してみませんか？

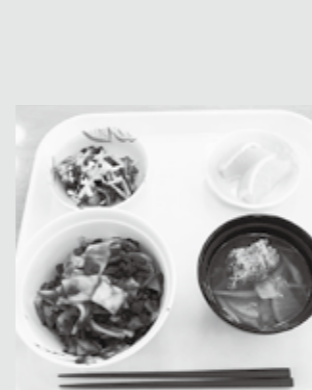
(業務係長 上川原千代枝)

## 沿岸・宮古ならではの 食事提供

救護施設 松山荘(宮古市)

宮古は世界でも有数の魚場を近海に抱えており、松山荘の利用者さんは昔から新鮮な魚、特に生ものが大好きな方が多く、沢山のリクエストがあります。年に何回かのお楽しみとして一番喜ばれているのが、沢山の海産物が器一杯に載せられた、宮古の有名店の生ちらしです。皆さんは、名店の味に舌鼓を打ち、とても嬉しそうに食べています。また、今年度は、利用者さんの目の前でお寿司を握る実演付きの寿司バイキングを行いました、大好評でした。実は、宮古には魚介を使った料理の他にも有名な食べ物があります。それは、「小豆ぱつとう」です。「ぱつとう」という

は、「小豆ぱつとう」です。「ぱつとう」という



人気メニュー「小豆ぱつとう」(※写真左下の丼)

を七回「ぱつとう」を食べると健康になる」という言い伝えがあり、その日は「小豆ぱつとう」を食べる風習があります。他の地域からいらした方は、初めは戸惑うようですが、皆さんからのリクエストが多く、根強い人気があるため、八月七日に限らず年間を通してメニューに採り入れていきます。この沿岸・宮古ならではの自慢の食事を、今後も利用者の方々に楽しんでいただけたらと思います。さらには工夫し、提供していきたいと思っております。

(栄養士 佐々木千恵子)

# 新規事業等紹介

今年度からスタートした事業所、入所から通所へ移行した事業所を紹介いたします。



## みたけ学園児童デイサービスセンター「くれよん」(盛岡市)

みたけ学園児童デイサービスセンター「くれよん」は、平成26年2月17日から放課後等デイサービス事業を開始しました。地域で生活している障がいのあるお子さんのニーズが高く、みたけ学園では「ほけつ」と、「とれいん」に続いて3か所目の開所となります。放課後等デイサービスとは、地域で生活している知的障がい等のあるお子さんに創作活動や遊び、運動を通して日常生活における基本動作の習得などのサービスを提供するものです。定員は10名で、営業時間は平日の13時から17時まで、学校休業日は10時30分から15時30分までとなっています。

事業所名の「くれよん」は、個別的な支援を大切にしたいの思いから、利用されるお子さんが、好きな色で自由に絵を描くように伸び伸びと成長する一助となれば、との思いを込めたものです。子どもたちが安心して過ごせる場を提供し、健やかに伸び伸びと成長できるように支援していききたいと思います。

\*利用方法について詳しく知りたい方は、お気軽にお尋ねください。

【お問い合わせ先】

019-681-2538  
(みたけ学園 業務係長 内田忠孝)



平成26年2月24日に開所式を行いました。



## 相談支援事業所 「まつやま」(宮古市)

平成26年1月1日付けで、宮古市から特定相談支援事業と障害児相談支援事業の指定を受け、相談支援事業所「まつやま」は、松山荘に併設する形で開設しました。当法人としては、6番目の相談支援事業所になります。サービス等利用計画(計画相談支援)の作成が始まり2年が経過しようとしています。進捗率はあまりよくないと聞きます。基幹相談支援センターの助言をいただきながら、地域で生活する障がい者の方々、これから地域生活を希望する方々の思いに耳を傾け、本人の希望に少しずつでも応えられるよう対応していきたいと考えています。



お気軽にお越しください。

事業所の場所は、宮古市内でははずれの方になります。お気楽にご相談ください。お待ちしております。

【連絡先】宮古市松山8-1-1 松山荘内

電話 0193-62-7921  
(相談支援専門員 佐々木伸一郎)

# 障害福祉サービス事業所 「わくら」(二戸町)

平成23年度時点の中山の園の状況として、施設入所希望者が減少し、地域移行した利用者も高齢化によって、通所による生活介護サービスのニーズが増加しました。そこで、さくらが既に定員割れしていた状況もあり、中山の園再編の先駆けとして、施設入所サービスを廃止し、通所生活介護事業所への移行を検討され、平成24年4月の家族会総会で承認をいただき、取り組みを開始しました。その結果、利用者ご家族、各関係機関の多大なるご協力をいただき、平成25年12月9日をもって、施設入所利用者の他施設等への移行を終了することができました。平成26年1月1日からは、障害福祉サービス事業所さくらとして、地域生活者を中心に、生活リハビリを目的とした健康体操、軽作業、趣味的活動等の日中活動を提供し、継続して地域生活が営めるよう支援しております。

(施設長 佐々木晃)



毎日行っている体操です。



個々の活動の様子です。みなさん、熱心に取り組んでいます。